

大原小学校 保護者 様

美作市立大原小学校
校長 金島 久美子

学校評価アンケートのご報告

寒冷の候、保護者の皆様におかれましては益々ご活躍のことと拝察いたします。平素より、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。この度の学校評価アンケートに関する結果（※抜粋）をご報告させていただきます。

各アンケートのグラフの見方について 肯定群回答

●よくあてはまる ● だいたいあてはまる

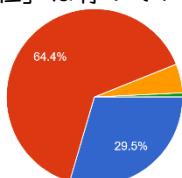
非肯定群回答

●あまりあてはまらない ● 全くあてはまらない

Ⅰ 「主体」「協働」「挑戦」の取組について

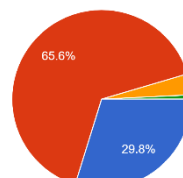
「主体性」は育っているか

肯定群回答 93.9%



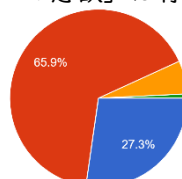
「協働」の心は育っているか

肯定群回答 95.4%



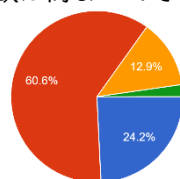
「挑戦への意欲」は育っているか

肯定群回答 93.2%



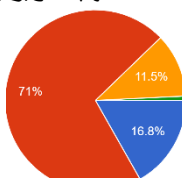
学習意欲は高まってきたか

肯定群回答 84.8%



自己肯定感が高まってきているか

肯定群回答 87.8%



※回答について

- ・本校の3つの心を通しての児童の育成については、ご理解をいただいていることがわかり、安心するとともに、感謝申し上げます。
- ・学習意欲や自己肯定感の高まりにつながるような仕組み作り、きめ細やかな指導・支援行っておりまいます。

☆保護者からのご意見

○地域の人やモノから学びを深めており、地域の人達にも開かれた小学校になっています。子ども達が地域に育てられていることを強く感じています。子ども達の地域への愛着心も育っているように思います。

○学校では様々なことにチャレンジして、地域とのつながりがあり、地域の方に「頑張ってたね。」と声をかけてもらっています。

●「主体・協働・挑戦」に、一部の子ども達だけではなく、全員が取り組むことができたらいなと思います。

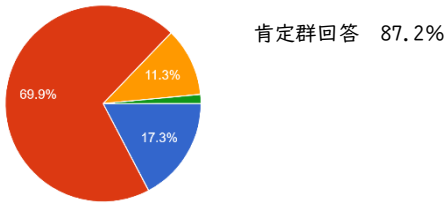
●課題への取り組みについて、「提出して終わり」とならず、継続して追究することができるようになってほしいと思います。

—学校より—

3つの心を学校経営の中心に据えた取組に対するご理解に感謝申し上げます。今年度は校外に出て学習をしたり、ゲストティーチャーを招き、交流をしたりする機会が多くありました。他者（友達・地域）との関わりにより、「主体・協働・挑戦」の心が育ち、学習意欲の向上にもつながったように思います。また、自己肯定感の向上については、家庭でも肯定的な言葉かけをされていることが、「家庭教育に関する質問」から読み取ることができ、学校と家庭との相互による取組の成果と考えられます。大原小学校が目指す子どもの姿と方向性を、児童・保護者と共有できるよう様々な場を今後も設定していく予定です。

Ⅱ 子どもの様子について

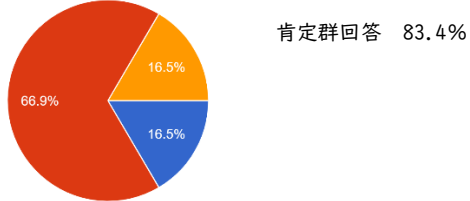
子どもは学習内容を理解しているか



※回答について

- ・約1割の保護者が、子どもの学習内容の理解に不安があると回答しています。子ども一人一人の課題を的確に把握し、指導・支援できるよう授業改善を行ってまいります。

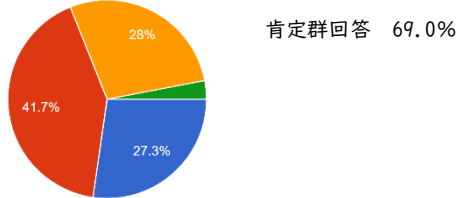
子どもは自分のよさを知っているか



※回答について

- ・児童一人一人が「自分のよさ」に気が付くことができるように、また、個人として尊重されていると感じられるような、声かけや関わりを学校でも家庭でも行っていくことが大切です。

子どもは家事の手伝いをしているか



※回答について

- ・日常的に家庭でも役割をもち、家族の一員として責任を果たそうとしている姿が見られます。活躍し、感謝される経験が、「自分のよさ」の気付きや自己肯定感の向上につながります。

☆保護者からのご意見

○新しい取り組みが増え、子どもも毎日楽しみに学校に通えています。

○縦割りの中での在り方を考えさせたり、子ども園や中学校との連携を行ったりなど、ハードルを下げる取り組みをされていると思います。

●やる気がある子・できる子と、やり方がいまいち分かっていない子の差が開いているように思います。やり方が分からない子や苦手な子に、もっと具体的に手を差し伸べてほしいと思います。

●家庭学習が多く、子どもはそれに疲れてしまい読書や手伝いなどはまったくできていないので、本人も家庭でも困っています。

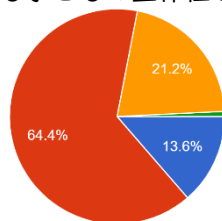
ー学校よりー

学習内容の理解については、日々の授業において、一人一人に応じた学習支援、ICTの活用など授業改善を行っております。子ども達に力が付いたのか的確に捉えるとともに、授業の中で「なんでだろう?」「分かった。」「楽しい。」など、児童の思いを大切にしながら、主体的に学習できるよう努めてまいります。また、「自分のよさ」に気が付き、その子のよさを伸ばせるようかかわりを続けていきたいと考えております。

そのほか、ご指摘いただいた点については、改善を図るべく検討いたします。

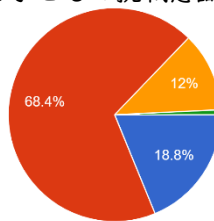
Ⅲ 家庭教育について

家庭でも子どもの主体性を伸ばすよう意識しているか



肯定群回答 78.0%

家庭でも子どもの挑戦意識を高めようとしているか



肯定群回答 87.2%

※回答について

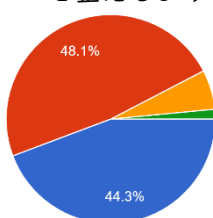
・子どもが自ら考えることができるような声かけはどのようなものでしょうか。

【子ども「〇〇だったよ。」→保護者「すごい!」】このようなやりとりも重要です。さらに、

【子ども「〇〇だったよ。」→保護者「すごい!どうしてできたのだろう。(どうやったの?)」】

など、問い返すことで、自らのことを考えること(メタ認知)につながり、次への挑戦のヒントにもなるかもしれません。

生活リズムを整えるよう心がけているか

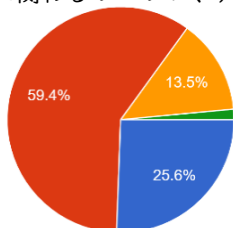


肯定群回答 92.4%

※回答について

・約9割の家庭が、基礎的な生活リズムが習慣化されたと回答しています。学習の質に直結する土台が整っていることが、落ち着いた大原小学校の学習環境につながっていると考えられます。

メディアに関わるルールづくりを子どもと相談しているか



肯定群回答 85.0%

※回答について

・メディアに関わるルールづくりについては、肯定的回答が増加しています。ご家庭で工夫しながらメディアに関するルールづくりを行っていただき、ありがとうございます。学校としても必要な情報提供等を行ってまいります。

☆保護者からのご意見

○家庭だけでは限界もありますが、家庭も巻き込んで、『主体・協働・挑戦』を意識した活動を続け、地域も含めて、日本の未来を創る人材を育成してほしいと思います。

●我が家の教育の在り方とのすり合わせが難しいな、と思います。

●家庭でタブレットを使ってやりとりをしている人がいると聞きます。タブレットに関するトラブルも起きているので心配です。

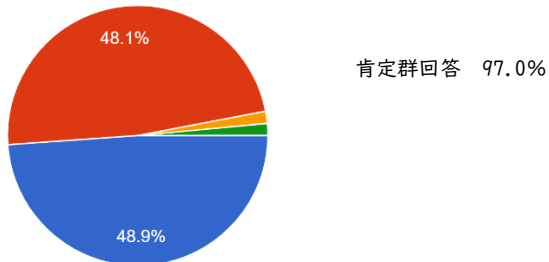
ー学校よりー

学校教育は、家庭教育の支えなくして成り立ちません。本校は、保護者の方々に支えられ、教育目標「**自らの考えをつくり、協働しながら活動し、社会に貢献する児童の育成**」に向かって、着実に前進することができていると感じています。

学校評価アンケートから、家庭においても子どもたちの「主体性」や「意欲の向上」を意識した関わりを進めていただいていることが分かりました。また、生活の基盤となる「生活リズム」についても、整えていただいている様子も伝わってきました。学校としては、目指す子どもの姿や取り組みなどを、児童や保護者、地域の方々と、一層共有していきたいと考えています。学校と家庭が一体となって大原小の子ども達を育てていけるよう努力してまいります。タブレット使用につきましても、適切な使い方ができるよう、学校全体で情報モラル教育にも積極的に取り組んでまいります。

Ⅳ その他

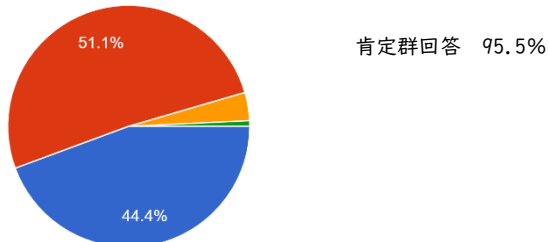
学校は様子を伝える努力をしているか



※回答について

- ・本校の取り組みや児童のがんばりについて今後も伝えていけるよう、継続的な取組をまいります。

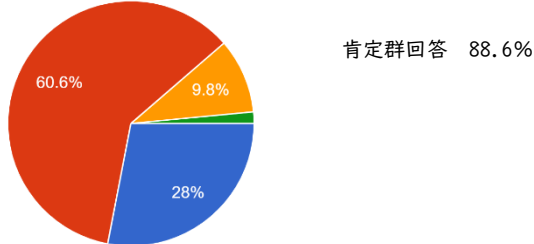
学校環境は安心して学習できる環境となっているか



※回答について

- ・教育環境整備には、保護者の皆様のご理解とご協力を多分にいたしており、感謝申し上げます。
- ・学校内外の積極的な作品掲示等に対して、高い評価をいただいています。継続的に取組を進めてまいります。

学校はいつでも相談できる雰囲気が整っているか



※回答について

- ・いつでもご相談に対応できる学校づくりに今後とも努めてまいります。

☆保護者からのご意見

○小学校生活で子ども達はもちろん、保護者も行きやすく、参加できるように変わってことが、とても助かります。

○校外学習等で、考えてインタビューをしたり、それをもとに班でまとめて発表したり、参観日でもその姿が見えてよかったです。

○今の学校全体の前向きな雰囲気が続いて欲しいなと思います。

●あまり学校の事を興味あることしか話さないで、学校で何をやっているのか分からない時もあります。もう少し、日常的に何を今勉強しているとか、何を目標に取り組んでいるとか等、保護者から子どもに質問できるヒントを教えてくれるとありがたいです。

—学校より—

お忙しい中、学校評価にご協力いただき誠にありがとうございました。多くの励ましのお言葉とともに、改善点となるご指摘もいただきました。これらのご意見も参考に、次年度の教育課程の編成を進めてまいります。

本校では、学んだことを利活用し、「主体」的に課題を見つけ、「協働」して課題解決に取り組み、失敗を恐れず「挑戦」を繰り返しながら、児童が地域社会に働きかけることができることを目標に、今後も取り組んでまいります。

保護者や地域の方からの評価は、子どもたちのエネルギーとなり、「自己肯定感」を育て、「地域を愛する子ども」の姿になっていきます。今後はそうした地域の方の評価が、子どもたちにフィードバックされるような「地域とともにある学校」というシステムを構築してまいります。